

第9回 ケアマネジャー研究大会 in松江

「今、ケアマネジャーの専門性を考える」に参加して

松江地域介護支援専門員協会 副会長 貝谷 昭

去る10月21日(金)22日(土)の2日間にわたり、くにびきメッセ多目的ホールを会場に第9回島根県ケアマネジャー研究大会in松江が「今、ケアマネジャーの専門性を考える」というテーマで開催されました。

松江が会場だったこともあり、準備・当日の運営に携わられた松江協会の役員の方に先ずお礼申し上げます。大変お世話になり有難うございました。

大会には県全域から210余名の参加がありました。基調講演では日本協会の濱田副会長より、来年度改正に向けての動向・日本協会の取り組みについて話をいただきました。参加者の感想から「日本協会の方の話が聞けて良かった」「普段は新聞紙面でしか見る事が無いので、審議会の内容などの詳細についての話が聞けて良かった」といった意見がありました。

その後の教育講演・事例発表、2日目の各圏域の研究発表はテーマである「ケアマネジャーの専門性」に沿う形で、甲子園大学 現代経営学部 准教授 長田貴先生に講義・助言を頂きながら進められました。事例発表は2事例について先生と発表者がやり取りをしながらどのような視点から関わりを持っていたのか、それがケアマネの役割としてどのような意味を持っていたのかということを検証されましたが、「もっと時間をかけてゆっくり聞きたかった」「先生に導いてもらった発表者は羨ましかった」という意見もありました。また圏域の研究発表も、具体的な事例に先生の講評が加えられたことで、「自分がどう動けば良いのかイメージが持てた」「日頃の業務について振り返りの機会になった」という意見も多かったです。

研究大会では「質・力量の検証」がテーマになることが多いですが、今回に限らず改正の度に居宅介護支援費の自己負担論・予防を含めた効果的なケアマネジメントの検証ということが言われています。今回の研究大会では、その間われている「質」や「力量」とは何か、具体的な実践にどう繋げるかについて「根拠性」「言語化」「役割意識」「信頼関係形成力」「自己検証と自己覚知」等をキーワードにしながらイメージを持つことができた大会になったのではないかと思います。



施設ケアマネージャー研修会に参加して

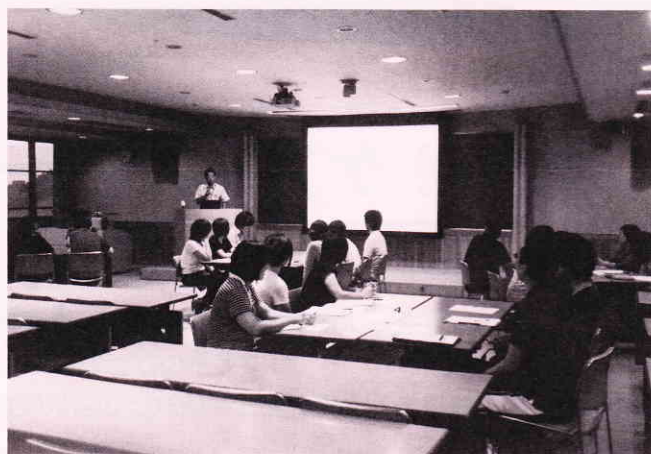
特別養護老人ホーム 長命園 坂本 由美子

研修の前半は、島根県介護支援専門員協会理事長の日野徹氏の講義を受けました。介護保険施設の定義、ケアマネージャーのあり方、役割についてわかりやすく説明をしていただきました。何故施設ケアプランが必要なのか、またケアプランの内容が提供サービスと一致していなかったり、スタッフの為にプランになっていたり、話の中で多くの事に気づかされました。利用者の視点に立ってアセスメントを行ない、「当たり前前生活」を世間の常識の中から考える視点であることを忘れてはならないと思いました。

後半は、グループにわかれてフリートーク形式で進められました。日頃悩んでいることや質問、他事業所との情報交換等々、大変有意義な時間でした。施設と居宅との交流は殆どないため、お互いの業務について知らない事だらけでした。様々なサービス事業所の参加により、多くの事を語り合い、何処も同じような悩

みを抱えながら過ごしていることがよくわかりました。

日頃の思いや悩みを語り合って共有できたことは、「また明日から頑張ろう」というエネルギーになりました。



合同研修会に参加して

八束介護センター居宅介護支援事業所 森 脇 あゆみ

私は、平成23年9月9日(金)松江市医師会・八束医師会・松江CM協会合同研修会へ参加しました。

このような会に参加することが初めてでしたので、医師・市職員・ケアマネが同じテーブルを囲み、同じテーマについて話し合う場の雰囲気に緊張しながら時間が過ぎていきました。

会の進行としては、松江市介護保険課から第5期介護保険事業計画策定状況についての報告、松江市医師会から認知症の診断における画像診断、治療薬等の使用状況等のアンケート結果の報告がありました。

グループ討議では、介護保険の導入部・介護保険申請時の主治医意見書作成時の医師とケアマネの連携の必要性について、特に盛り上がりました。

介護保険の申請のために意見書作成を主治医が行ないますが、本人・家族の聴き取りのみでは生活状況・

ADL等わかりにくい部分も多いと、医師からの話が多くありました。実際に診察時の際のご本人は、医師の前で「大丈夫です。できます。」と言われる場面をよく目にします。家族もその場で「・・・でも」とは言いにくいところですよ。このような時に、ケアマネが付いている場合では、ケアマネからの情報提供やADL状況、日常生活上の生活しづらさを的確に医師に伝えることができる。と医師側の意見を聴くことができました。

敷居が高いと考えがちな医師との連携ですが、今回の研修でケアマネが医師と連携したい、情報共有をしたいと思っていることと同様に医師側もケアマネを必要としている部分があるという事を再確認し、今回の研修のように医師・行政・ケアマネ・他関係者が1人の利用者さんを同じテーブルで囲み、支援していけるチームワークが必要だと思いました。



有限会社 くにびきケアサービス

〒692-0007

島根県安来市荒島町 1732 番地 6

電話番号 0854-28-9898

FAX番号 0854-28-9588

福祉用具の貸与、販売、高齢者、障害者向け住宅改修、
どんなことでもお気軽にご相談下さい。

船通山登山に参加して

さわやかセンター 多 根 暁 子

11月3日(文化の日)に、第2回目の船通山登山に参加してきました。

当日は、暑くもなく寒くもない絶好の登山日和。「山ガールコンテストがあるらしい」という噂が流れたこともあり、それぞれ思い思いの山ファッションに身を包み、大人9名、小学生2名の計11名で、元気に出発!

紅葉を楽しみ、流れる滝のマイナスイオンを浴びながら、1時間半かけて、のんびり登ります。高級カメラで写真を撮る人、食べられるきのこを採る人、食べられないきのこを見つける人(詳しい人がいて本当に良かった!)と、楽しみ方も十人十色です。

山頂では、他の登山客に迷惑なほどのいいにおいを撒き散らし、とりたての天然きのこの味噌汁と、おいしい焼肉をいただきます。

味噌汁を入れる入れ物がないことに出来上がってから気付きますが、気にしません(山ですから!)。小学生が先輩ケアマネにタメ口でからみ、母親はハラハラしますが、許してもらいます(山ですから!)。落ちた野菜を「大丈夫! 3秒ルールだから」と焼き直して、食べます(山ですから!)。仕事の話は誰もしません(山ですから!)。50代のミニスカートですが、大丈夫です(山ですから!)。

下山後は、お湯が良いと有名な温泉にも入ります。

おいしい空気を吸い、仕事の事は忘れ、心身共に浄化されたような一日でした。「明日から、また頑張るぞ〜」という気持ちになります。笑顔で利用者様と向き合うためにも、こういう時間って大切だなとしみじみ感じた一日でした。

今回は、ぜひ、今回参加されなかった方も一緒に山に登りましょう。たくさんの方の参加をお待ちしております。



福祉用具・介護用品の店

有限会社

げんき堂



本店 〒692-0011 安来市安来町 1083

☎ 0854-22-3652 FAX 0854-22-4222

松江店 〒690-0012 松江市古志原 3-7-31

☎ 0852-28-6041 FAX 0852-28-6045

福祉機器販売・レンタル

WEED

株式会社 **ウィードメディカル**

島根県松江市嫁島町 10-7

☎ 0852-60-2661 FAX 0852-60-2664



らくらくタイコー

福祉用具レンタル・販売・住宅改修・
セーフティホーム 24

松江市北田町 63 番地 4

TEL0852-22-3553 FAX0852-22-3555

明日から役に立つかもしれない心理学～ジョハリの窓

なんとなくシリーズ化しつつある(!?)今回はアメリカの心理学者ジョセフ・ルフトさんとハリー・インガムさんの提唱するジョハリの窓についてお話をさせていただきます。

ジョハリの窓というのは、

- ① 開放の窓 (open self) …… 自分も他人もよく知っている窓
- ② 秘密の窓 (hidden self) …… 自分では知っているが、他人は知らない窓
- ③ 盲点の窓 (blind self) …… 他人は知っているが、自分は知らない窓
- ④ 未知の窓 (unknown self) …… 自分も他人も知らない窓

という4つの窓で、対人関係におけるグラフモデルをあらわします。

自分の事を自己開示することによって②「秘密の窓」を小さくしていき、相手にも自分の事をたくさん知ってもらう事で①「開放の窓」が大きくなっていきます。自分も相手も知っている共有する事が多くなることによって、コミュニケーションがよりとりやすくなっていきます。

③「盲点の窓」他の人からの指摘によって自分では気づけなかった部分も見つかり、それをフィードバックすることによって更なる成長もできる部分です。

④「未知の窓」は、可能性の窓でもあります。新しい経験や新しい価値観との出会いなどを通して今まで知らなかった自分に出会えると、今よりももっと楽しくなる…かも!?

この4つの「窓」を意識しながら対人関係を意識すると、自分ってどんな人!?ということが今よりも見えてくるかもしれませんね(^v^)

ということで、今回も会員の皆様に何かのお役に立てていただくことができれば幸いです。いつもありがとうございます。それでは良いお年をお迎えくださいませ。

足立新之介



島根県介護支援専門員協会からのお知らせ

第9回島根県ケアマネジャー研究大会の基調講演の資料ですが、配布資料が見にくかったのでHPにアップをして欲しいという意見が多くありました。12月中に県協会のHPからダウンロードできるようにする予定です。宜しくお願い致します。

編集後記

平成23年もあっという間に終わった感があります。正月の大雪でライフラインの心細さを実感し連携方法などを話し合っていた頃、東日本大震災が起きました。未曾有の惨事の中、稲田会長を始め救助や支援に行かれた方の話を聞き、知識や経験は無論ですが継続する情熱が力になると改めて思いました。

なでしこ JAPAN も継続した情熱で世界 No.1 になりましたし、これからも皆さんと絆を深めていきたいです。良いお年をお迎えください。